

ENMUSUBI

MATSUE

IZUMO

HAMADA

PLATFORM

The University of Shimane

地域と大学の共育・共創・共生に向けた
縁結びプラットフォーム

概要版
DIGEST



文部科学省

地(知)の拠点

平成26年度地(知)の拠点整備事業

成果報告書

(地域連携活動報告書)



公立大学法人
島根県立大学

はじめに



公立大学法人島根県立大学
理事長・学長 本田 雄一

島根県立大学は文部科学省が実施する地域を志向し、地域の再生・活性化に貢献する大学を支援するという「地（知）の拠点整備事業」に、「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」（COC事業）を主題として応募し、平成25年度に事業採択されました。本学のCOC事業は平成26年度で2年目となり、本格的な事業推進の時期に入った年であったということが出来ます。

COC事業は、2本の柱からなり、地域の課題を解決するニーズと大学が有する知的資源であるシーズのマッチングを図り、大学と地域が共同研究を実施することによって、地域課題の解決に向けた取り組みを進めること、そして、地域の再生、活性化に貢献する人材を養成する教育改革を実行することです。本学では、既に、地域志向の教育である「フレッシュマン・フィールド・セミナー」のように、地域をフィールドとする体験型学習を実施しています。さらに、本年度は、地域を志向した一連の教育科目を履修することによって、「しまね地域マイスター」の資格が授与される認定制度の構築に向けた取り組みを強めました。その基礎となる「しまね地域共生学入門」は、本学の全ての1年次生に必修として課す授業で、3つのキャンパスから、それぞれの専門分野を有する教員が参加し、島根の現状と課題について、「共生」という視点から解説し、学んでもらう科目です。本年度は授業担当者を決め、授業時間を3キャンパスで統一することによって、COC²-Netを活用した遠隔授業を行うための準備がほぼ完成しました。

研究面では、「9月連携会議」における地域ニーズと大学シーズのマッチングに基づき、「しまね地域共創基盤研究費」を活用した共同研究が実施されています。これらの研究の成果は、「第2回全域フォーラム」の場で発表され、広く公表されました。「第2回全域フォーラム」では、同時に、浜田市及び益田市と島根県立大学との共同研究の成果も発表されています。

島根県における地域の再生と活性化を推進する担い手となる人材の育成にむけて、「松江キャンパス」では、現場専門職者と大学教員が過疎地域の課題解決に向けて研鑽し合う専門職者向け履修証明プログラム「地域共生専門コース」の開設に向けた準備を進めました。「出雲キャンパス」では、「しまね看護交流センター」が中心となり、「地域とともに歩む看護・福祉の専門職」の育成に取り組んでいます。「浜田キャンパス」では総合政策学の学びと実践のもと、地域事情に精通し、地域を繋ぎコーディネートしながら課題解決に取り組む「実践力のある専門人材」の育成に努めています。

これらの地域での取組をさらに発展させ、「縁むすびプラットフォーム」を基盤として地域課題を解決し、地域の再生・活性化という共通課題の解決に向けて、大学が関係する自治体や団体等の間を繋ぎ合わせる接着剤の役割を果たすことができると願っています。

目次

平成26年度 地(知)の拠点整備事業
成果報告書(地域連携活動報告書)概要版

1

はじめに

公立大学法人島根県立大学 理事長・学長 本田雄一

3

事業概要

3キャンパス共通の事業概要

4

事業の主な具体的取組

- ・島根県立大学
- ・島根県立大学短期大学部

5

全域プラットフォームの 実施状況

- ・第2回全域フォーラム
- ・3キャンパス年間スケジュール

各キャンパスの活動

浜田キャンパス

7

出雲キャンパス

11

松江キャンパス

15

しまね地域共育・ 共創研究助成の研究成果

- ・しまね地域共創基盤研究費
- ・地域連携活動費

19

本事業の連携自治体・ 団体・機関

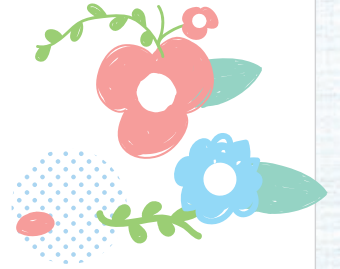
20





事業概要

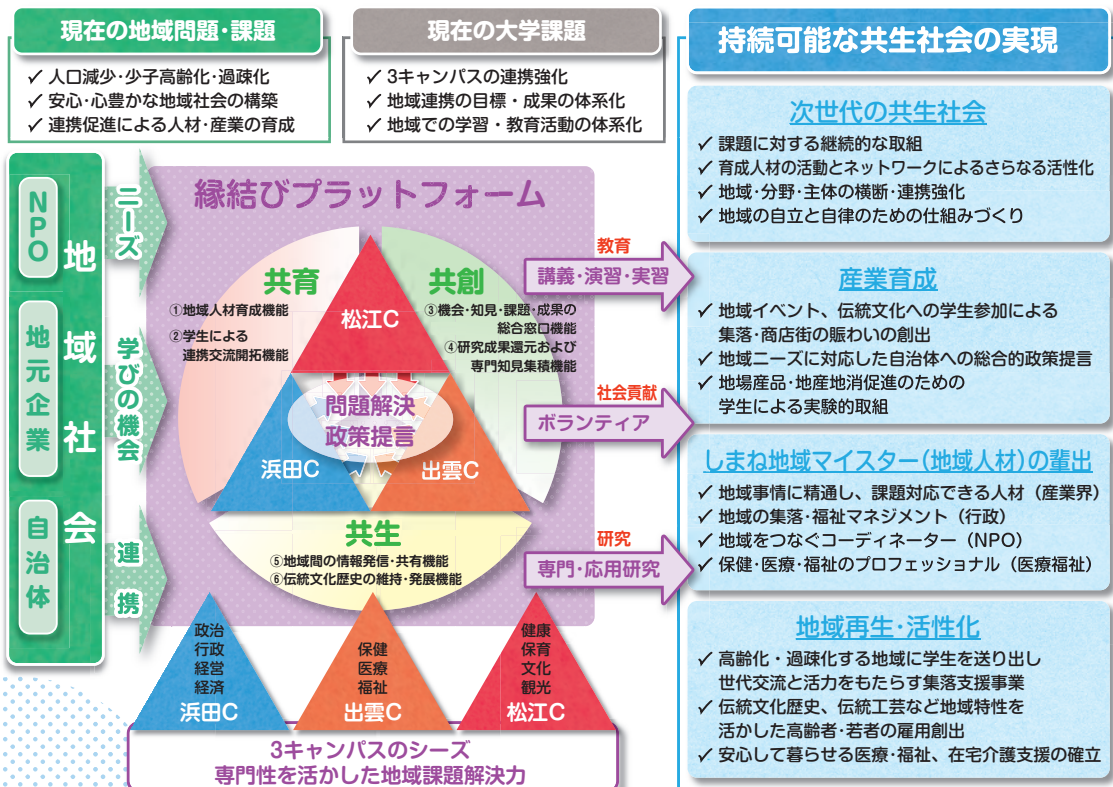
3キャンパス共通の事業概要



公立大学法人島根県立大学は、総合政策学部(浜田市)、看護学部(出雲市)、短期大学部(松江市)の3キャンパスを有し、各キャンパスの専門分野を活かした地域貢献に取り組んでいます。本事業では、島根県の人口減少、少子高齢化、過疎化という地域共通問題へ対応するため、地域ニーズと大学シーズのマッチングを図る「縁結びプラットフォーム」という「場」を構築します。



地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム



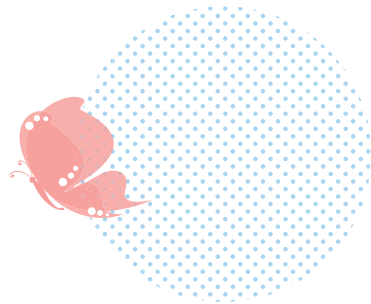
『共育・共創・共生』とは

- 『共育』…地域とともに人材を育む
- 『共創』…知見を集積し、住みよい地域の姿を創造する
- 『共生』…地域の良さを活かし、持続的・自律的に発展する

教育・研究・社会貢献活動での3キャンパスの連携事業を発展強化させ、全学の専門性と総合力を存分に活かした効果的な課題対応等を展開していきます。

地域課題に接近しつつ教育では、過疎先進地島根県で高い専門性と実践力を有する人材を育成するために「しまね地域マイスター」認定制度(島根県立大学)、「履修証明プログラム」(島根県立大学短期大学部)を新設します。各学部で実施されてきた教育・研究・社会貢献活動を段階的に整理し、その目標・成果を全学で体系化するとともに、共通問題を多角的に研究し、市民や学生の地域活動を支援して、地域に開かれた大学として、地域社会へ貢献しています。

事業の主な具体的取組



島根県立大学

1 共育 (教育)

人材育成の目標:島根県における地域問題に対して様々な取組を通じて、

- ①地域事情に精通し、
- ②地域主体を繋げるコーディネート力のある人材を育成し、
- ③熱意をもち課題解決に取り組める実践力を持った人材を育成する。

○「しまね地域マイスター」認定制度の創設

本制度は、島根地域のあらゆる分野へ精通した学生を認定する、本学独自の学士認定制度です。卒業時には、自ら課題に対して向き合い、考え、課題解決に向けた行動力のある人材として、社会に飛び出すことができることを目標としています。

2 共創 (研究等)

本事業では、研究等について以下に掲げる内容を目標として取り組みます。

- ①「縁結びプラットフォーム」を通じて、学内の教員同士、地域と大学との連携を強化する。
- ②広域的、分野横断的な地域研究の実施を促進する。
- ③域内での研究成果の共有化を図る。

○地域研究費の拡充

- ・「しまね地域共育・共創研究助成金」

3 共生 (社会貢献)

本事業では、島根県内に分散立地する各キャンパスを拠点とし、社会貢献の目標を以下のとおり掲げています。

- ①生涯学習機能の拡充に取り組む。
- ②ボランティアの広域的対応に取り組む。

○生涯学習機能の拡充

- ・COC²-Netを活用した遠隔講義の実施を通じた市民の受講機会の拡大

カリキュラムマップ

CURRICULUM MAP

学年	1年	2年	3年	4年
演習科目				地域共生卒業研究
		地域共生演習		
専門科目	選択専門科目			
		地域課題総合理解		
基礎科目	しまね地域共生学入門		ステップアップ!!	

島根県立大学短期大学部

1 共育 (教育)

学生に対する「地域志向」教育改善は、

- ①「しまね地域共生学入門」と「地域志向」科目による地域課題への基礎教育構築。
- ②「地域共生専門コース」履修証明プログラムの選択履修による問題意識の深化。
- ③卒業研究における学域共同研究への一部参加による課題解決への展望。

○現場専門職者向け「地域共生専門コース」新設

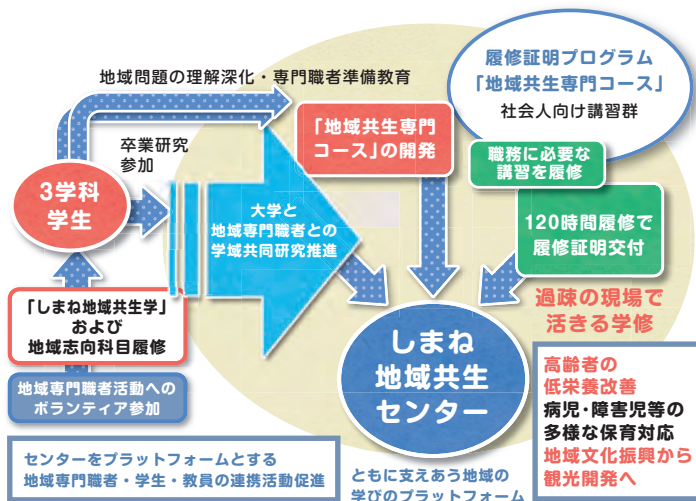
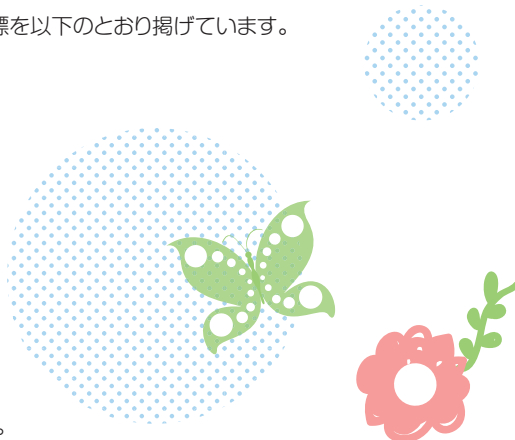
現場専門職の社会人向けの、極めて実践的かつ具体的な個別的課題の解決に結びつく知見と技術の集積としてのプログラムです。少子高齢化集落の職務で必要な講習の履修、ならびに120時間コース履修による履修証明の交付(履修証明プログラム)をおこないます。

2 共創 (研究等)

- 「しまね地域共生センター」における共同研究の推進
- 「しまね地域共生センター紀要」の発行

3 共生 (社会貢献)

- 社会人向け「地域共生専門コース」での人材育成
- 生涯学習機能の拡充
- ボランティアの広域的対応





文部科学省 平成26年度
「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」成果報告会
地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム

第2回 全域フォーラム

日時:平成27年2月17日(火) 会場:島根県立大学 浜田キャンパス 講堂

島根県立大学が平成25年度より取り組む「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」における、平成26年度の成果報告を発表する場として開催。基調講演には東京農業大学の木村俊昭教授を講師にお迎えしました。また、今回は浜田市・益田市との共同研究報告も、あわせておこなわれました。



基調講演



「地域が元気になるには～地域連携の処方箋～」

東京農業大学
生物産業学部 地域産業経営学科 木村 俊昭 教授

しまね地域共育・共創研究の成果報告



「高津川と人々の暮らしの繋がりから探る地域の魅力 ～地域活性化のための基礎調査1～(川の地名調査)」

浜田キャンパス
島根県立大学 寺田 哲志 准教授



「農医連携による限界集落の活性化に関する試み ～島根県出雲市吉野集落の実践を通して～」

出雲キャンパス
島根県立大学 松本 亥智江 准教授



「児童文化財の現状をふまえた 保育者養成プログラムの展開」

松江キャンパス
島根県立大学短期大学部 福井 一尊 准教授



「ヘルスツーリズムによる 地域活性化の可能性 ～島根県邑智郡川本町 における事例～」

出雲キャンパス (左写真) 島根県立大学 小村 智子 助手
出雲キャンパス (右写真) 島根県立大学 山下 一也 副学長/教授

浜田市共同研究報告

「商店街活性化に関する調査 ～4つの分析軸から見る中心市街地活性化～」

島根県立大学 久保田 典男 准教授 浜田キャンパス

「地元の食を再考する『まち弁』企画 ～浜田市のイカを活用して～」

島根県立大学 田中 恭子 准教授 浜田キャンパス

「浜田市の商店街活性化を目指して ～大学と地域の融合の場としての中心市街地再生計画～」

島根県立大学 藤原 真砂 教授 浜田キャンパス

「高齢者の介護予防のための検討会」

島根県立大学短期大学部 酒元 誠治 教授 松江キャンパス

益田市共同研究報告

「災害時に利用可能な情報通信技術の調査と デモンストレーション」

島根県立大学 金野 和弘 准教授 浜田キャンパス

「石見空港におけるビジネス客獲得にむけた モビリティ・マネジナントの提案」

島根県立大学 西藤 真一 講師 浜田キャンパス

ポスターセッション



当日は登壇報告の他に、ポスター展示による報告も14件おこなわれました。

講評

浜田市 久保田 章市 市長 / 益田市 山本 浩章 市長

年間スケジュール

(平成27年度)

	教育	ボランティア	COC事業暦	学年暦
4月	授業開始 (浜田・出雲・松江)	ボランティア説明会 (松江) 地連カフェ (浜田)	地連カフェとは、ボランティアの紹介や報告、ボランティア依頼者と参加希望者が顔を合わせる「ボランティア・プラットフォーム」など様々な企画をしています。	●学年始 (浜田・出雲・松江) ●入学式 (浜田・出雲・松江) ●オリエンテーション (浜田・出雲・松江) ●春学 (前) 期間講 (浜田・出雲・松江) ●健康診断 (浜田・出雲・松江) ●学生・教職員交流会 (出雲) ●学生生活支援講演 (出雲)
5月	1年ゼミでの連携依頼はここまで 松江市立湖南中学校授業連携 (松江)	地連カフェ「ボランティア・プラットフォーム」実施 (浜田) ボランティアをしたい学生とボランティアをやってほしい依頼団体とのマッチングを行います。	学生が比較的動きやすい 縁結びプラットフォーム運営委員会総会	●学生生活支援講演 (出雲) ●進路セミナー (出雲) ●球技大会 (松江)
6月	フレッシュマン・フィールド・セミナーシラバス締切 (浜田)	連携依頼ポイント		●開学記念日 (出雲・松江) ●学生生活支援講演 (出雲) ●進路セミナー (出雲) ●大学祭 (つわぶき祭) (出雲) ●ほいくまつり (松江)
7月	学生研究発表会 (浜田) 乃木小学校・幼保園のぎとの連携会議 (松江) 学生の研究について、より広く市民の皆さんに知っていただくことと同時に、学内で学生が研究の成果を報告する機会を設けます。			●球技大会 (浜田) ●春学 (前) 期試験 (浜田・出雲・松江) ●春学 (前) 期終了 (浜田) ●オープンキャンパス (浜田・松江)
8月	ゼミ合宿等の検討 (浜田・松江) 夏休みを利用したゼミ活動での地域貢献可。 連携校教育研究会 (松江) 翌年連携依頼ポイント (松江)	夏季休業	連携依頼ポイント	●春学 (前) 期終了 (出雲・松江) ●夏季休業開始 (浜田・出雲・松江) ●オープンキャンパス (出雲) ●異文化理解研修 (浜田・出雲) ●海外語学研修 (松江)
9月	松江市立湖南中学校授業連携 (松江)		縁結びプラットフォーム運営委員会 9月連携会議開催	●オープンキャンパス (浜田・出雲) ●夏季休業終 (浜田・出雲・松江)
10月	松江市立女子高等学校交流会 (松江) 松江市立乃木小学校本学訪問 (松江) 翌年2年ゼミでの連携依頼メ切	地連カフェ (浜田) 3キャンパス学生ボランティア交流会 (3キャンパス合同)	「しまね地域共生センター紀要」発行 (松江)	●秋学 (後) 期開始 (浜田・出雲・松江) ●進路セミナー (出雲) ●学生生活支援講演 (出雲) ●大学祭 (海遊祭) (浜田) ●大学祭 (飛鳥祭) (松江) ●保護者進路懇談会 (浜田)
11月	総合演習 I・IIシラバス締切 (浜田)			
12月	連携依頼ポイント			●国際文化交流の夕べ (浜田)
1月	学生研究発表会 (浜田・松江)	地連カフェ (浜田) ボランティア・ポイント還元 (浜田) ボランティア活動に応じてポイント付与。貯まったポイントを学生に還元します。	濱田市 益田市 > 共同研究発表会 共同研究・申請 (H28年度分) 第3回全域フォーラム 教育連携協議会開催 (松江) H28年度しまね地域共育・共創研究助成金の申請受付・審査・採択	●冬季休業開始 (浜田・出雲・松江) ●冬季休業終 (浜田・出雲・松江) ●優秀卒業研究発表会 (浜田)
2月				●卒業研究発表会 (松江) ●秋学 (後) 期試験 (浜田・出雲・松江) ●地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会 (浜田) ●論文の発表会 (浜田) ●国家試験 (出雲)
3月		春季休業 「あったかれっじ」ボランティア報告会 (松江) (不定期開催)	連携依頼ポイント 「地域研究と教育」発行 (松江) 研究連携協議会開催 (松江)	●次年度オリエンテーション (出雲) ●春季 (学年末) 休業開始 (浜田・出雲・松江) ●卒業式・修了式 (浜田・出雲・松江) ●学年終 (浜田・出雲・松江)

学生の地域活動

ボランティア活動



地域の皆様と学生の架け橋として、学生のボランティア活動への参加を積極的に支援しています。

地連カフェ&ボランティア・ポイント抽選会



より積極的にボランティアに参加できるよう、ボランティアに関する座談会・情報交換会・活動報告や、ボランティア依頼者の皆様との意見交換など、カフェ形式で開催しました。また、ボランティア活動ごとにポイントを付与するキャンパス・マイレージ事業によるボランティア・ポイント抽選会もおこなわれました。

学生サークル等による地域貢献活動



個人単位ではなく、サークルや有志による各種の地域貢献活動もおこなわれました。また、先駆的で地域社会への貢献度の高い活動を島根県知事が表彰する「県民いきいき活動奨励賞」を「BBSサークル」が受賞しました。

地域に関する教育・研究活動

第12回地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文発表会



地域振興や地域活性化に関して、学生自らが得た知見を地域に還元する場ともなりました。最優秀賞と奨励賞に加えて、浜田市長賞の表彰もありました。

フレッシュマン・フィールド・セミナー



全初年次生が17ゼミに分かれて地域に出かけ、調査を通じて地域の課題を発見し、合同成果発表会において課題の解決策を提案しました。

平成26年度フレッシュマン・フィールド・セミナー 一覧

ゼミ	フィールド先
赤坂ゼミ	・かなぎウエスタンライディングパーク
瓜生ゼミ	・株式会社扇原茶園 ・浜田市農林振興課
大橋ゼミ	・グラントワ(島根県芸術文化センター) ・浜田商工会議所 ・石見神楽産業化モデル事業実行委員会 ・周布小学校
大前ゼミ	・浜田市水産振興課 ・しまね漁業協同組合浜田支所 ・株式会社シーライフ ・道の駅ゆづりパーク浜田
川中ゼミ	・島根県立少年自然の家
久保田ゼミ	・株式会社キヌヤ (本社、中吉田店、プリル店)
西藤ゼミ	・石見空港 ・広島空港 ・広島県空港振興課 ・益田市観光交流課空港対策室

ゼミ	フィールド先
豊田ゼミ	・公益財団法人ふるさと島根定住財団 ・ガリレオスコープ株式会社 ・浜田土建株式会社 ・島根県産業振興課 ・浜田市政策企画課 ・結まーるプラス
中川ゼミ	・島根県内の特別養護老人ホーム
八田ゼミ	・有限会社はんだ ・ドライブステーション舞乃市
林(秀)ゼミ	・ALSOKあさひ播磨株式会社 ・石見食品株式会社 ・株式会社オープンハート ・株式会社ケイ・エフ・ジー ・島根あさひ社会復帰促進センター／SSJ株式会社 ・シマネ益田電子株式会社 ・大和ラチエーター工業株式会社 ・株式会社デルタ・シー・アンド・エス ・社会福祉法人梅寿会

ゼミ	フィールド先
田中ゼミ	・島根県しまねブランド推進課 ・江津市 ・ドクターリセラ株式会社 ・いずも八山椒有限公司 ・企業組合出西窯 ・浅利観光株式会社
林田ゼミ	・広島国税局 ・島根県産業技術センター浜田技術センター ・日本海酒造株式会社
藤原ゼミ	・美郷町産業振興課 ・タイワモンド ・美郷町商工会
別枝ゼミ	・社会福祉法人いわみ福祉会 (菓の木園、トルティエーノ、菓の実工房、渡佐神楽工房、 神楽ショップ、こくぶ学園、森のレストラン、 かなぎウエスタンライディングパーク)
光延ゼミ	・島根県市町村課 ・松江市内(調査) ・浜田市内(調査)
渡部ゼミ	・津和野町

地域から／地域への応援・情報発信

公開講座等の開催



地域に開かれた大学として、地域の方々の知的好奇心に応えるため23講座を開講。今年度には執筆、テレビ出演などで活躍中の東京農業大学名誉教授・小泉武夫氏を講師に特別公開講座も開催しました。

学生研究発表会



今年度は2回（7月・1月）開催され、計4ゼミの学生が研究成果を地域の方々へ発表しました。

学習支援事業

大学生による小中学校学習支援事業の取り組み



浜田市内小中学校の放課後の補習時間に学生を派遣して、教員と連携して個別学習支援をおこないました。

島根県立島根中央高校



島根県立島根中央高校1年生を対象に、学生が学習支援し、高校生への学力と進学意識の向上に貢献しました。

益田市立匹見中学校 学習等支援



ソフトボール部の学生が匹見中学校野球部員を対象に、学習支援や部活動の交流を、2日間にわたっておこないました。

県大農園「すこっぷ」



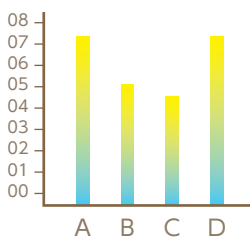
授業をきっかけに浜田市弥栄町小熊集落で週末ごとに畑を耕し、野菜の栽培、加工、販売を手がける学生グループ。集落の草刈りや雪かきの手伝いもします。

高大連携の取り組み



島根県立浜田高校・江津高校と高大連携包括協定に基づき、相互の特色を生かした連携活動を実施しました。

北東アジア地域研究センター市民研究員制度



本制度をとおして、学外に蓄積された北東アジア地域に対する知識を、大学院教育に積極的に取り入れました。

出雲キャンパス・プラットフォーム 会議



10月に第2回会議を開催しました。島根県、出雲市、県内看護師等学校養成所、実習病院、島根県看護協会、近隣コミュニティセンター等から20名出席していただき、しまね看護交流センター事業に関し、有意義な意見交換ができました。

地域での出前講座を実施



地域の保健・医療・福祉の発展や看護職者の人材育成、看護教育の充実に寄与するために、地域・各種団体等からの依頼を受けて、教員が依頼先に出掛け、講義を行います。平成26年度は33講座を実施しました。

公開講座の開催

客員教授 隠岐広域連合立隠岐島前病院院長
白石吉彦氏を講師にお迎えしました。



子そだて・孫そだてに関する
講義・演習を行いました。



「開かれた大学」として教育・研究における成果を広く地域社会に還元するため、平成26年度は、8講座を開講しました。

小中学校体験学習



小中学生のための保健医療福祉に関連する体験学習等の依頼に応じています。写真は、小学生が高齢者の眼の見え方と指先の動きを体験しているところです。

学生ボランティア研修会を開催



平成26年5月28日に開催しました。学生ボランティア・マイレージ制度についての説明、前年度のマイレージポイント取得上位者の表彰、NPO法人学生人材バンク代表田中玄洋氏の講演の他、地域で行われているボランティア活動の紹介を行いました。

災害ボランティア(岩手県)に参加



毎年、夏季休業を利用して、東日本大震災の被災地での災害ボランティア活動に参加しています。平成26年度もいわてGINGAネットによる活動に、学生6名が参加しました。

出雲市委託事業（介護予防教室事業・児童虐待防止推進研修事業）の受託実施

日御碕地区介護予防教室



児童虐待防止推進研修

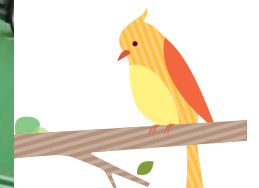


出雲市と協働し、高齢者を対象に地域のネットワークを活用した介護予防教室事業と、一般市民・教育・医療・行政関係者を対象とした児童虐待予防に関する研修事業を実施しています。

「出雲産業フェア2014」に出展



平成26年11月1、2日に開催された「出雲産業フェア2014」に出展しました。学生の学習活動や教員の研究成果の展示、しまね看護交流センターの紹介とともに、健康コーナーを設置し、血圧・血管年齢・体組成測定を行いました。たくさんの方にブースにお越しいただきました。



出雲キャンパスモニター会議を開催



出雲キャンパスでは、近隣地域の方および卒業生・修了生に本キャンパスをご理解していただくと同時に連携を深め、いただいた意見を大学運営に活かすため、モニター制度を実施しています。平成26年度は、2回の会議を開催し、貴重な意見をいただきました。

第4回タウンミーティングを開催



平成27年2月11日、邑智郡川本町「すこやかセンターかわもと」において、「川本町の保健医療福祉の取り組みと人材育成」をテーマに開催しました。92名の参加者があり、町内の方々、医療従事者、行政関係者、大学職員を交え、活発な意見交換が行われました。

キャンパスツアーの実施

シニアキャンパスツアー



大学の広報活動の一環として随時対応している事業です。平成26年度は、ジュニアキャンパスツアーとして、近隣の小学校1校、シニアキャンパスツアーとして県西部から1件の依頼がありました。キャンパス内の施設見学やミニ講話等を行いました。

しまね地域共生センター（縁うぼ） を開設



平成26年4月、地域と大学がともに支えあう「学びのプラットフォーム」として「しまね地域共生センター」が松江キャンパスにオープンしました。センターでは、地域と大学が一体となり、教育研究を中心とした地域連携活動を推進・展開しています。

しまね地域共生センター オープニング記念講演会



平成26年5月、「希望のしまね、しまねの希望」をテーマに玄田有史氏（東京大学社会科学研究所教授）による講演会を開催。また、玄田有史氏・本田雄一学長・小泉凡センター長の3名による鼎談も行いました。

ご縁の国しまね 観光コンベンションin松江 ～島根の宝・資源を世界に発信～



平成26年6月、松江キャンパス総合文化学科教員を中心に、観光による地域の魅力発信をテーマにしたイベントを開催。基調講演、パネルディスカッション、有福神楽保持者会による石見神楽公演も行われ、県内外から多くの参加者が来場いただきました。

客員教授による公開授業



平成26年度は、各学科で客員教授による講演会を開催。椿の道アカデミー会員や、一般にも公開したほか、講義中継機器（COC²-Net）からの同時配信により、浜田・出雲キャンパスでも受講可能となりました。

現任者向けの公開講座



アメリカで開発された子育て支援プログラム（コンセンサス・ペアレンティング）を学ぶ、現任者向けの講座を開催。講座で学んだ内容を職場や家庭で実践し、報告しあうことで、参加者同士の距離も縮まり、楽しく学べる講座でした。

フィールドトリップ講座 (公開講座)



学外に出て、山陰の文化資源を五感で観察、探求しようという趣旨の講座で、参加者のご要望にこたえ平成26年度は、2講座を開講しました。そのうち「松江ゴーストツアー」はNPO法人松江ツーリズム研究会との連携により開催しました。

西条柿熟柿ピューレを利用した食品開発



西条柿熟柿ピューレを利用した食品開発では、松江市商工企画課の支援も受けて熟柿ピューレを用いたドレッシングおよび秋鹿ごぼうと熟柿ピューレ入りキーマカレーの商品化に取り組みました。また、西条ガキ熟柿ピューレの省力化生産技術の開発を行い、その成果は生産現場で省力化技術として実用化されています。

しまね三昧リエット(仮称)の 考案・試作



しまね和牛肉、出西生姜、有機米について行った卒業研究の成果を活かし、「しまね三昧リエット(仮称)」の考案・試作を行いました。島根県、島根県畜産技術センター、JAしまね雲南地区本部、いずも八山椒との連携により、平成27年3月に産学官連携企画「しまね三昧リエット(仮称)」の販売に向けた試食会を開催しました。

地域活性化支援の取り組み (まちづくり学)



「まちづくり学」の履修生22名と有志学生9名(計31名)は、NPO松江ツーリズム研究会の依頼を受け、施設来訪者のヒアリング調査を実施しました。来訪者273名を対象に調査した後、グループに分かれてデータの入力・分析を行い、報告会を実施。調査結果は報告書にまとめ、関係機関に配布しました。

キラキラドリームプロジェクト

プロジェクト「怪談スイーツ」



学生が企画する独創的なプロジェクトに対し大学が費用を補助し、夢の実現を応援する「キラキラドリームプロジェクト」。今年度採択された「怪談スイーツプロジェクト」は、松江の観光を盛り上げるため、産学協同で商品化が実現しました。

ボランティアサークルの 地域活動



ボランティアサークルvolcano (ボルケーノ) では、地域活動を中心に取り組んでいます。「飛鳥祭」において、「防災プログラムを体験してみよう」と題し、日本赤十字社の協力を得て、防災についての講話、ビデオ上映、炊き出しの体験を実施し、本学学生や地元の方々が参加しました。

小学校での食育活動



松江市立乃木小学校での食育授業は、松江市立湖南中学校、松江市立乃木小学校との三者連携推進事業をきっかけに平成19年度から始まり、今年度で8年目を迎えました。健康栄養学科教員（直良博之教授、葉迫靖子嘱託助手）と学生4名が取り組み、朝ごはんの良いところやバランスの良い朝ごはんを児童と一緒に考えながら実施しました。

出前シェフによる「読み聞かせ」



学外の保育所や図書館などからの要望を受けて読み聞かせに出かける「出前シェフ」は、平成26年度は合計23か所で活動を行ない、県内各地で学生たちは多くの子どもたちとの出会いを経験しました。

第41回ほいくまつり



「第41回ほいくまつり」は、平成26年7月5日（土）に島根県民会館大ホールで開催され、多くの親子が学生の作りだした歌唱・司会・影絵・劇などの「児童文化」を楽しみ学生と交流しました。

おはなしレストランライブラリー「マイクロ・ライブラリーアワード」を受賞



平成26年8月、おはなしレストランライブラリーは第1回マイクロ・ライブラリーアワードの表彰を受けました。小規模ながらも本の貸し出しを通して地域貢献している図書館に贈られ、今回、栄えある第1回目の受賞に全国500館の中からおはなしレストランライブラリーを含め27館が選ばれました。

しまね地域共育・共創研究助成の研究成果

助成の対象となる活動は、地域を志向した教育・研究・社会貢献を行うために、島根県が直面する地域課題への対応に資する活動を行うものであって、当該年度に支出するもので、平成26年度は次のとおりでした。

1 しまね地域共創 基盤研究費

常勤教員等または常勤教員等を代表とする3名以上からなる研究グループの行う調査研究活動

2 地域活動経費

次のア～ウまでに掲げるキャンパスの区分に応じ、当該ア～ウまでに定めるもの

- ア) 浜田キャンパス 演習科目及び地域共生演習にかかる活動
- イ) 出雲キャンパス 「地域」または「地域での実習」に関する科目にかかる活動
- ウ) 松江キャンパス 地域志向内容を含む科目(卒業研究・卒業プロジェクトを含む)にかかる活動

研究テーマ	申請者
「大学生がつくる“田舎暮らしマニュアル”」の制作	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 教授 井上 厚史 ◎
島根石見地方の地域産品(主に食品)の生産者、生産量、販売等の研究	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 教授 藤原 真砂 ◎
温泉を起点とした観光振興の可能性	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 久保田 典男
シニア世代の労働力を活用した臨時的雇用受給マッチングシステムの構築	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 金野 和弘
地方大学の地域連携機能の模索	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 田中 恭子
高津川と人々の暮らしの繋がりがから探る地域の魅力・地域活性化のための基礎的調査1-(川の地名調査)	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 寺田 哲志
石見空港の役割と活用策に関する調査	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 西藤 真一 ◎
島根県の森林価値の再評価・林業による活性化の道を探る	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 豊田 知世 ◎
妊娠前から乳児期におけるプレパパ・ママを支える子育てハンドブックの検討	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 准教授 長島 玲子 ◎
駅前空き店舗を利用した健康教室&まちなか活性プロジェクト—シャッター通りの活性化を目指して—	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 准教授 松本 玄智江 ◎
農医連携による限界集落の活性化に関する試み～島根県出雲市吉野集落の実践を通して～	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 准教授 松本 玄智江 ◎
中山間地域における健康課題に対応する多職種医療人協働教育の実践—多職種医療人協働教育マルシェの開催と地域の健康課題の把握を通して—	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 准教授 松本 玄智江 ◎
ヘルスツーリズムによる地域活性化の可能性～島根県邑智郡川本町における事例～	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 助手 小村 智子 ◎
西条ガキ熟柿ピューレの省力化生産技術の開発	松江キャンパス 健康栄養学科 教授 赤浦 和之
国体候補高校生に対する食事調査・栄養診断・栄養指導事業	松江キャンパス 健康栄養学科 教授 酒元 誠治
しまね和牛肉の食肉加工方法の検討について～加工材料の検討～	松江キャンパス 健康栄養学科 准教授 籠橋 有紀子 ◎
山陰の特徴景色を題材とした写真作品による地域文化資源意識の定着に向けて～島根県・鳥取県全38市町村の今日的姿を絵画的に撮影した作品集の印刷・製本および啓発活動から～	松江キャンパス 保育学科 准教授 福井 一尊
大学附属の児童図書専門図書館の調査—おはなしレストランライブラリーの有効活用に向けて—	松江キャンパス 総合文化学科 教授 岩田 英作 ◎
『出雲国風土記』の英訳研究	松江キャンパス 総合文化学科 教授 松浦 雄二 ◎
地域のリソースを活かしたこころの支援	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 教授 川中 淳子
島根県における日本型直接支払制度の有効性の探求	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 教授 林 秀司
島根県内における日常生活情報の発信に関する効果的方法の模索—中山間地域における都市部地域と非都市部地域との比較を通して—	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 教授 光延 忠彦
島根県における地域課題と国際化の現状について	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 林 裕明
学生の公共交通利用促進を目的とした情報誌の制作	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 松田 善臣
バス大学線における移動ニーズに関する調査	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 西藤 真一
石見アクティブライフの提案—若者の地域満足度向上を目指して—	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 ヘネベリー スティーヴン
有機農業推進のための技術開発プロジェクト・将来の島根農業を支える商品づくりプロジェクト	松江キャンパス 健康栄養学科 教授 名和田 清子
島根県産「つや姫」の生産・販売拡大に向けた取り組み	松江キャンパス 健康栄養学科 教授 名和田 清子
地域の子どもを取り巻く児童文化財の現状をふまえた保育者養成プログラムの展開	松江キャンパス 保育学科 准教授 福井 一尊
学生の視点を活かした観光振興の可能性を探る—雲南市吉田町を事例に—	松江キャンパス 総合文化学科 准教授 工藤 泰子
島根の伝統工芸の体験と英語による情報発信	松江キャンパス 総合文化学科 講師 ラング クリス

研究グループでの申請の場合は◎

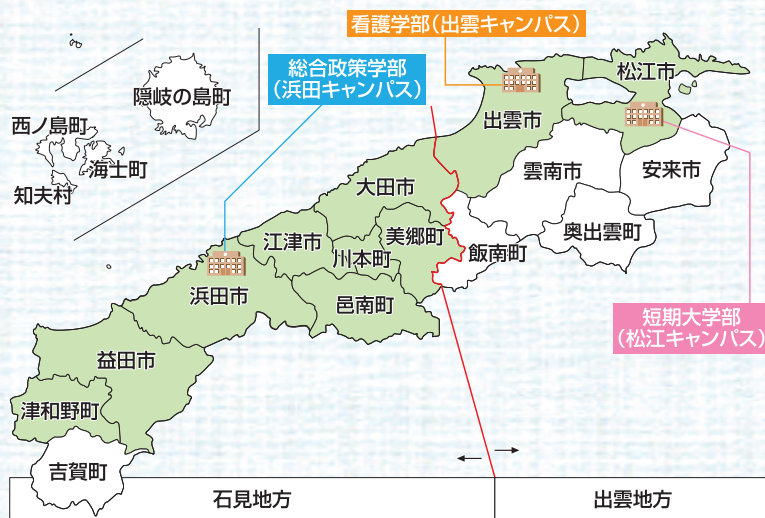
本事業の連携自治体・団体・機関

自治体

島根県、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、
江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町

団体 機関

公益財団法人しまね産業振興財団、公益財団法人
ふるさと島根定住財団、公益社団法人島根県栄養士会、
公益社団法人島根県看護協会、島根県商工会連合会、
島根県保育協議会、NPO法人てごねっと石見、
NPO法人松江ツーリズム研究会、株式会社今井書店、
石見銀山テレビ放送株式会社



■ は本事業における連携自治体（平成27年3月1日現在）



公立大学法人
島根県立大学

お問い合わせ先

浜田キャンパス
(地域連携推進センター)

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2 TEL:0855-24-2396 FAX:0855-23-7352
E-mail:tiiki@admin.u-shimane.ac.jp

出雲キャンパス
(しまね看護交流センター)

〒693-8550 島根県出雲市西林木町151 TEL:0853-20-0220 FAX:0853-20-0227
E-mail:kango@izm.u-shimane.ac.jp

松江キャンパス
(しまね地域共生センター)

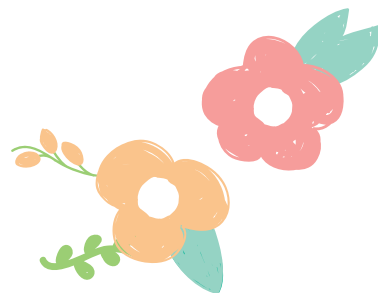
〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2 TEL:0852-28-8322 FAX:0852-28-8366
E-mail:kyousei@matsue.u-shimane.ac.jp

平成26年度 地(知)の拠点整備事業

成果報告書(地域連携活動報告書)概要版

【編集・発行】 島根県立大学地域連携推進センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2 TEL:0855-24-2396 FAX:0855-23-7352 E-mail:tiiki@admin.u-shimane.ac.jp





島根県立大学マスコットキャラクター オロリン

ENMUSUBI
MATSUE IZUMO HAMADA
PLATFORM
The University of Shimane



The University of Shimane